



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ
<http://www.fureai-support.jp/>



8・9月号
令和2年7月22日

- 法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
- 相馬市中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

今年も早いもので半年が過ぎました。

コロナの感染拡大防止の緊急自粛生活の中で、今まで経験した事のない経験から学ぶことがたくさんありました。様々な行動の制限で不自由を感じながらも、今までの生活を見つめ直し、これからの生活をどう生きるかという大きな課題をいただきました。

でも、何があっても時は刻々と過ぎていきます。アトリエ周りの雑草の見事に伸びていく様は子ども達の成長のよう・・・で、嬉しくもあり、でも草取りなどの作業を考えると、恨めしくもあります。

例年より短い夏休みですが、いつもと違う時間を過ごす事を日常ととらえ、自ら考え行動する力を身につけましょう。



ケーキやさん



ジュースやさん



油絵・ねぎぼうず



あまいピワ



たなばた飾り

今年度で、相馬絵画研究所創立55周年になりました。

創立55周年記念事業に、北町アトリエの東隣に第2アトリエ(倉本信之相馬36景版画館)の建設・版画集の出版記念誌発行を企画しております。

55周年にちなみ、相馬絵画研究所にご縁のあった55名の皆様に原稿をお願いしました。一方的にお願いしたのにも関わらずお忙しい中ご寄稿いただき、私共にもメールまで送ってください、良いお話・ためになるお話等々、興味深く原稿を拝読しました。絵を描くように、下書きから、皆さんのお力によってどんどん塗りあがっています。どんな本に仕上がるか、ワクワクしております。完成が楽しみです。

◎原発の事故で非難を余儀なくされ連絡取れない皆様へ
当法人のホームページで確認し、ぜひご寄稿いただければ有り難いです。

8・9月の活動予定 & 事務連絡

◎きょうしつは

・9月の2週目より始めます。

金曜日コース 9月11日

水曜日コース 9月16日

※新入会の皆さんは9月5日(土)2時~3時(保護者同伴)入会式・説明会を行います。

◎ご請求は

・9月は月会費に年会費を加えてご請求します。

※昨年度より継続の方は年会費のみになります。



一服どうぞ!! 自然の恵み、にがみそのまんま緑色 新茶 目薬の木茶

目薬になる木だからメグスリノキ 今年の初摘みは5月27日 新茶 できました。

目薬の木はカエデ科の落葉樹で、効用から千里眼の木とも呼ばれる。秋には美しく紅葉します。相馬地方では、古くから樹皮を煎じた汁で洗眼する方法があり、肝臓疾患にも効くといわれていました。好奇心旺盛な倉本が思考錯誤を重ね、美味しい目薬の木茶が出来上がってから25年になります。

我が家でもデイサービスでも毎日愛飲しています。ほろ苦いが甘い感じが、子どもからおじいちゃん・おばあちゃんにまで喜んでいただいております。みなさんも一服どうぞ! やみつきになってしまいますよ。冷たいお茶も美味しいです。

お酒大好き私達も、おかげで健康。でも、お酒飲みすぎには注意しましょう。

お茶ばかりでなく、目薬の木の葉っぱ入りクッキー・てんぶらなど、まるごと食べてもグー。

かがぞうけいきょうしつは・・・

3月から休講していた当教室の再開の検討を重ねた結果グループ学習や友達との関係性の中で大きな成果を上げている教室なので、三密の回避は難しいとの判断から8月まで休講しております。令和2年度の勉強始めは9月からとなります。

「おばあちゃん、絵の具やろう・・・」の巻

門前の小僧かのように、子も孫もひ孫も、習わぬ絵の描き始めに、どの子も「絵具やろう・・・」という一声から始まった。

いろいろな絵具や材料が所狭しとあり、絵がたくさん飾られているアトリエの中。初ひ孫のことちゃんも好奇心旺盛な2歳児。絵画教室デビューの日を待ち望んでいたが、休講。

やりたい、描きたい意欲満々のことちゃんにへへ、初めての絵の教室のはじまり、はじまり・・・初めての絵の具に興味深々。

赤ちゃん時代はあっという間に過ぎ、言葉も大人顔負けのことを言うようになり成長著しい姿は、見ているだけでも楽しくかわいい2歳児。ティサービスのおばあちゃん達も視覚に入っただけでも顔がほころんでくる。それを見ている私も嬉しくなり心とむ。

5月の連休中、里帰り出産で帰省していたお母さんから2歳児の入会希望の電話が入る。休講中でもあり迷ったが、たっの願ひもあり2歳児教室開講。2歳児2人ことちゃん・ひなちゃんにアシスタントのるいちゃんと友美子先生4人体制で始まる。一対一よりも相手がいることにより関係性を築く中で、更に集団生活や社会生活のルールも学び合える。二人の関係はどんな風に発展していくか・・・ワクワクです。

ことちゃん・ひなちゃんのおやつ巻

元教室生に、絵画教室での思い出を聞いてみると、第一番におやつのお思い出。創立当初はおやつのことなど考えもしなかったが自分の子を入会させてからおやつを必要と感じ、授業の中におやつを取り入れたのが始まりで現在まで続く。これまで補助食としてだけでなく、友達との関係性を作り思いやりを育てるため、一袋をどう分けるか考え、数学的学びをしながら教材としてのおやつ役割を担ってきました。物も豊富で嗜好品が多くなった現在補助食としての役割は終わったとしても、子供の育ちを考えるうえで役割は大きいので、ずっと続けております。

手作りおやつその他、2種類の菓子袋を見せ「どっちがいい・・・？」と聞くと二人とも同じものを指す。「一個しかないね。どうしよう？」と問いかけてみると、「半分こすればいいよ・・・」思いやりの優しい心が芽生えている事に感動。一袋を半分にするだけでなく、また一本を半分に折って二人で食べている様子は何とほほえましい。おやつのことだけでなく、毎回の二人の関係性は笑ってしまう程楽しいやり取りです。(記 まり子)

教育は教え育むもの

只野 裕一 (元保護者)

現相馬市社会福祉協議会会長

気働きのできる子が非常に少なくなった。次に、この人は何をしたいのか？またはとっさの時に、パッと行動する。そういうことができなくなった。知識があっても、知恵が巡らない。

この原因のひとつに教育があるのではないかと。教育とは、その字の通り教え育むものである。教え育む両方が相まって教育となるが、知識を教えることはあっても人間を育むことがおろそかになっている。

私が思い出に残っている先生は、小学生の担任の先生だ。この先生が、夏休みに磯部の実家の協力で地引き網をやるので、親子で参加してみないか、という催しをしてくれた。

今だと事故があったら誰の責任、責任をどうとるのか！と問題視してしまう。昭和三十年、この頃は何かあったら自己責任という正常な考えが世の中にあった。先生が学校以外の場所で、自分の時間自分の物を使って生徒親子を楽しませてくれる。そういう先生の気持ちや伝わり、一番の想いでとっている。

倉本先生のアトリエに子供がお世話になった動機は、絵画は勿論のこと、体験活動をやられていることだった。

青森のねぶた参加は、我々では経験させることは出来ない得がたいもので、集団生活のあり方を学ばせて貰った。アトリエの体験教室でバスの集合時間に遅れた場合は、遅れた人を待っていることなくバスは出発した。これが正しい。約束を守りちゃんと来ている人が、約束を破り来ない人を待っていることはないのです。

時間に関する考え方は、倉本先生と一致するところであった。殿様から乞食まで、すべての人に平等に与えられたものがある。それは、時間と、陽の光である。だから時間の約束は守らなければならない。この倉本先生の時間に対する考えには、私は共感した。

会議、催しものには、十五分前には行くようにした。それが準備をして待っている主催者への礼儀である。だから時間の約束をして、十分以上遅れて来た者には会わないで返す。こちらは、その約束の時間に支障なく会えるように段取りをする。それを相手は破ったのである。遅れるなら、連絡をすべき。いま携帯電話を持っていない人などいない。それさえ出来ない者とは、会う必要などない。懇親会をやっていて、遅れて到着した者がいると拍手で迎える。これは間違い。時間を守れなかったのだから、手土産のひとつでも持参して、お詫びをするのが筋である。ただし、会議と自宅を訪問するのは違う。会議は前述したように十五分前。自宅は時間をちょっと過ぎた位。

倉本先生ありがとうございます。
ご健勝でご活躍をお祈り申し上げます。

令和2年度 かがぞうけいきょうしつ 会員募集中！



令和2年度のかげぞうけいきょうしつ勉強は、9月から始めます。新たに入会希望の方がおりましたら、ご紹介いたします。お互いに、更に自分の能力をプラスに引き出せる関係性で新たなグループを作りたいと思います。

アトリエでは

グループ学習を通して仲間づくりをしながら「思いやりの心」を育てます。創作活動の中で自己表現する楽しさを知り、「やる気・やりぬく心」を培い自ら考える力を持った「意欲的な子」へと成長する場の提供をしております。